

# 指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成30年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)  
年間 (4月～3月)

施設名	秋川溪谷戸倉体験研修センター	指定管理者	新四季創造株式会社
指定期間	平成30年4月1日から 平成35年3月31日まで	担当課	観光まちづくり推進課

## 1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	313	164	52.4%	
	延べ利用者数 (人)	21,000	14,541	69.2%	
	事業開 催回数	必須事業：宿泊 (回)	60	58	96.7%
		自主事業：体験 (回)	55	19	34.5%
収支状況	収入	指定管理料 (円)	21,990,000	10,995,000	50.0%
		利用料金収入 (円)	10,000,000	7,150,800	71.5%
		体験飲食等事業収入 (円)	10,320,000	6,713,365	65.1%
		その他の収入 (円)	0	53,460	-%
	収入計 (円)		42,310,000	24,912,625	58.9%
	支出	人件費※ (円)	20,980,000	10,423,756	49.7%
		維持管理運営経費 (円)	15,810,300	7,118,857	45.0%
		その他の支出 (円)	3,800,000	2,615,982	68.8%
支出計 (円)		40,590,300	20,158,595	49.7%	
収支 (収入－支出) (円)		1,719,700	4,754,030	276.4%	

### 指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

<b>【開館日数・利用者数について】</b> 開館日数：164日 利用者数：9,478人 (研修室利用者数：2,666人) (見学利用者数：2,397人) 延べ利用者数：14,541人	<b>【事業の実施状況について】</b> 地域と連携した体験事業はリピーターも増加し、ジオ情報室と協力した新規体験も好評を得た。宿泊では顧客を確保しつつ、1日1団体を強調し、研修会及び福祉関係の団体が増加した。イベントにも参加し売上促進を図った。	<b>【収支状況について】</b> 弾力性ある雇用計画を実施し、繁忙期は、新たな地域応募者を雇用しつつ、適正に人員管理を努めた。また、酷暑などによる季節被害もあることから冷暖房等を設置したが、収支については、計画通り推移している。
---	--	--

### 所管課の評価 (指摘事項)

<b>【開館日数・利用者数について】</b> 平成29年度の実績を基に年間計画を立て、開館できている。前年夏季に利用した団体のリピーター率が高く、順調に利用されている。	<b>【事業の実施状況について】</b> 体験事業については、これまでの実績から地域の理解を得ているため、受入体制も充実し、利用者が増加している。地域と良好な信頼関係が築けている。	<b>【収支状況について】</b> 人員管理について計画的に雇用し、人件費の抑制に努めている。サービス向上のために物品購入等を行っているが、収支については計画どおりに運営されている。
---	---	--

※人件費には、自主事業である飲食に係る人件費を含む。

## 2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	当日常、申請書、台帳	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、申請書、台帳	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地、台帳	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル、日報	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地、日報	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	電話による問合せ利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	DM送付・営業・催事	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	ホームページ、SNS、広報あきる野、紙面	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	13～15人 人員計画/シフト管理	13人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	2回/年 研修マニュアル	実施回数 1回 適正・要改善	適正・要改善
	障がい者や高齢者の雇用促進に努めている	40% 雇用人員計画	40% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている	社用就業規則	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている	事業報告書、日報	適正・要改善	適正・要改善

環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報	適正・要改善	適正・要改善
--------	---	-------	--------	--------

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）
<p>当社が指定管理を受け、新たな5か年（2018年-2022年）の管理運営を始めた上半期である。組織として、柔軟且つ円滑な対応をすることで、利用者をリピーター顧客として確保しつつ、安全管理マニュアルの見直し、入念な実踏を試み、安心・安全・衛生に気配りしている。営業面では、代理店と連携した新規集客（文化・芸術関係団体向けへ宣伝）の取り組み、商圏内の教育関連団体及び幼保団体等へのDM送付など、紙面やインターネット等による情報発信に努めた。体験事業のひとつである農業体験は、新たな生産者と協力し、これまでにない野菜の収穫プログラムを提供した。宿泊については、「安心・近距離・面白さ」が強みとなり、利用者による次期予約の問合せについては、9割以上となっている。飲食営業では、引き続き、地域の野菜も可能な限り使用し、東京都が勧める「野菜メニュー店」としてパンフレットに掲載し、食育という観点から野菜を多く使用している。以上のことも踏まえ、各事業の好意的な口コミが多く発信され、確実に集客が伸びている状況であり、引き続き健全な運営を心掛けていく。また、地域活性化の観点から、雇用については、戸倉・小宮地区の方を主軸とし、宿泊に関する飲食及び清掃など、早朝や夜間に対応でき、且つ地域情報を案内できるスタッフを引き続き採用している。その他、展示事業では、八王子市にある小学校と展示イベントを協力開催し、文化や風土を紹介しつつ、地域交流を図りながら多くの利用者に好評を得た。</p> <p>このようなことから、弊社の使命である連携・連動・協力を基本として、地域貢献に努力している。</p>
市による所見（指摘事項など）
<p>前年度に利用した団体がリピーターとして利用している背景には、体験を受け入れた地域の方々や施設スタッフの対応の良さが評価されていると考えられる。また、体験事業の農業体験では新たな収穫プログラムを取入れ、他市の小学校の協力を得て展示事業を開催するなど、評価できる。下半期については、地域の方々と連携しながら、地域を活かすような施設にするため、冬期中の各事業のメニューの見直しや検討を行い、積極的に取り組むことを期待する。</p>